

越前町地域公共交通計画（案）へのパブリックコメントの実施結果

1. 意見募集の概要

募集期間	令和2年12月25日（金）～令和3年1月14日（木）
閲覧場所	公共交通対策室、宮崎コミュニティセンター、越前コミュニティセンター、織田コミュニティセンター、町ホームページ
意見の提出方法	持参、郵送、メール、FAX
意見の提出先	企画財政課 公共交通対策室

2. 意見募集の結果

(1) 意見提出者数 2

(2) 意見項目数 5

<内訳>

区分		意見項目数
第7章 計画の施策体系	基本目標	4
	基本目標を実現するために行う事業	1
合計		5

3. 意見の概要と意見に対する町の考え方

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	基本目標	多額の経費をかけて運行しても、利用者が少なく、廃止することもできないのは理解できるが、少ない投資で最大の効果が得られるような方策を検討して欲しい。	運行ルート効率化を図り、1便あたりの乗車人数を向上させる検討をします。バスだけでなく小型車両での輸送を組み合わせ、全体経費の圧縮と1人あたりの移動にかかる経費の縮減に努めます。
2	基本目標	バスを小型化し、予約に応じて運行する他市町の事例を参考にしたい。	利用者が減少する中で現在のような大きいバスでの運行は現実的でなく、乗車人数に応じた車両で運用していきます。意見にある予約に応じて運行する小型車両とはデマンドタクシー方式と推測されるが、当町でも導入を検討しています。
3	基本目標	コミュニティバスの利用者が少ないので一から見直すべき。	計画書51Pに示してあるとおり、コミュニティバスの路線集約と新しい仕組みの導入を検討しており、利便の向上による利用者増を目指しています。
4	基本目標	自宅の近くにコミバスのバス停はあるが、路線バスのバス停が遠い。将来的に町外へ出かけるとき不安。町外へもコミバスで行けるようになるといい。	コミュニティバスの市町をまたいだ広域運行も検討していきたいと考えています。自宅から町外まで移動となると、バスターミナルなどの乗継拠点でのスムーズな乗り継ぎなど、地域の実情に即した交通体系の導入を検討していきたいと考えています。
5	基本目標を実現するために行う事業	高齢者が利用しているコミュニティバスの仕組みを大幅に変える場合、抵抗があるかも知れないが、分かりやすさと使いやすさを向上させれば理解を得やすい。	現在のコミュニティバス体系ができて14年が経過していることから、大幅な見直しをする場合には、集落説明会や高齢者を対象とした各種会合に出向き周知に努めていきます。